

令和5年度第1回厚木市学校給食センター運営委員会会議録

会議主管課	教育総務部学校給食課
会議開催日時	令和5年7月5日（水）午前10時30分～午前11時30分
会議開催場所	厚木市北部学校給食センター2階 会議室
出席者	厚木市学校給食センター運営委員会委員11人 教育総務部長及び学校給食課職員8人
説明者	学校給食課長、学校給食課職員

委嘱状交付式

委嘱状交付

あいさつ 佐後教育長

会議経過は、以下のとおり。

- 1 開会 学校給食課長
委員及び事務局の紹介、資料確認
厚木市学校給食センター運営委員会について（参考資料1及び2に基づき説明）

2 会長及び副会長の選出

(1) 会長の選出

会長に山内夕委員（戸田小学校校長）を選出。

会長 あいさつ

(2) 副会長の選出

副会長に伊藤元正委員（睦合中学校PTA会長）を選出。

3 案件

以下、山内会長により議事進行

委員からの質疑、意見及び事務局の説明は次のとおり。

- (1) 附属機関における会議録の形式について 【資料1】
発言者の氏名は公表、発言内容は要約記載とすることで全員同意。
- (2) 令和5年度学校給食に係る実施計画について 【資料2】
質疑なし
- (3) 令和5年度学校給食用物資納入登録業者について 【資料3】
質疑なし
- (4) 学校給食費の現況について 【資料4】
質疑なし

4 その他

○ 給食費無償化について

本市では市長が変わり、8つの政策の中に給食費無償化を掲げている。本市の教育大綱及び教育基本理念でもある「未来を担う人づくり」の実現に向けて、子どもたちの健全な成長を社会全体で見守ることが重要と考えている。子どもたちの安心で充実した食の環境の確保について、社会全体で取り組んでいく必要があり、給食費の無償化の実現に向けて取り組んでいるところである。現在、学校給食に関する

アンケート調査について4,500名を無作為抽出し、7/23までを回答期限として実施する予定。抽出は居住地区別、年齢層別で回収率25%を想定している。給食費の無償化は国としても実現に向け今後3年間かけて具体的方策を検討するとしている。

給食費無償化についてのアンケート実施や地場農産物の1か月あたりの実施回数増加に向けた補正予算を要求しており、これから学校給食に対する注目はより高まっていくと思うので、何かご意見等あれば、またお伺いしたい。

意見等特になく、事務局案のとおり進めることで全員了解。

事務局：その他何かご意見・ご質問等あればお伺いしたい。

大澤委員：3点質問をしたい。1点目は食材費が高騰しているが給食の予算は足りているか。2点目は地産地消を推進するにあたって、予算に変化はあったか。3点目は無償化実施にあたり、一食当たりの金額に変化はあるのか。

事務局：食材費の高騰により、足りるか足りないかの瀬戸際のラインで献立を作成している。1食当たり小学校238円、中学校290円で提供しているが、食材費は全体的に1割以上値上がりしている。青果・精肉は入札により一番安価な食材を使用している。今後に関しては、昨年と同様に国の交付金も視野に入れながら検討したい。また、栄養価の基準を満たしつつも、おいしい給食を提供していきたい。

地場農産物については、現在厚木市農協と協定を結んでいる。地区によって多少額は異なるが、ほぼ入札額と同じである。農協とも相談しながら進めていきたい。

無償化になったとしても1食単価の基準は設ける必要があり、今後、上がっていく可能性はある。

給食費は条例で定めており、もし給食費をあげる必要があれば条例を改正しなければならない。しかし、来年度から無償化にする方針のため、今すぐに給食費をあげる予定はない。もし今の給食費で収まらないのであれば、市が責任を持って子どもたちに提供していく。

5 閉会 学校給食課長